

(2) 内省と実践をつなぐ道徳教育の創造 **道徳授業を要とする道徳教育のPDCA**

**Plan Action**

- 実態把握  
・計画立案
- ①校長の方針
  - ②推進体制の組織化
  - ③小中重点項目設定
  - ④全体計画及び別業の作成
  - ⑤年間指導計画作成

改善の実行・評価

- ①道徳教育改善・充実のための情報発信

**Check**

そして、  
次のPlanへ！

**Action**

検証

- 事後研究
- ①ワークショップ型研究協議
  - ②振り返りの視点の工夫
  - ③別業等計画の加除訂正

評価

- ①ねらいとの整合性
- ②道徳ノート・ファイルの蓄積
- ③内容項目の視点から変容把握
- ④個人内評価

**Check**

**Do**

授業実践

- ①学習指導要領の理解  
・研修主題、目指す児童像、生徒像の共有
- ②研修計画の工夫  
・相互参観授業日課
- ③全教職員による共通実践

授業構想(明確な指導観)

・価値観・児童生徒観・教材観の共有

- ①事前研究
- ②教材吟味
- ③学習指導案の作成・検討
- ④先行授業分析
- ⑤外部講師の助言

**Plan**

内省と実践をつなぐ道徳授業の創造

指導観



価値観



児童生徒観



教材観

意識改革のポイント！

児童生徒がねらいとする道徳的価値を自己との関わりにおいて捉えているか。  
教師自らが児童生徒と共に考え、悩み、感動を共有しながら、学んでいるか。

考え

多面的・多角的に考えることができる発問構成

議論する

価値理解

道徳的価値のよさ・素晴らしさ

人間理解

道徳的価値の実現の難しさ

他者理解

道徳的価値観の多様さ

多様な考え方、感じ方と  
出会い交流する。

内省

「私は、あの時、どう考えていたんだろう」  
「どのような理由で大切なんだろう」

自分との関わりで道徳的価値を捉える  
(自我関与)

実践へつなぐ

「こんな考え方を自分もできるといいな」

自分なりに道徳的価値についての  
思いや課題を培う

道徳的価値の自覚と人間(自己)の生き方

評価について

ねらいとの  
整合性

児童生徒の成長  
を認め励ます

道徳ノートの活用

個人内評価

